

保護者等向け 放課後等デイサービス自己評価表（放課後等デイサービス色えんぴつ）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	2	0	室内の様子を見たことがないので分からない。パーテーションで部屋を分けたり広くできたり、建物内は広いと思う。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30	8	0	室内の様子を見たことがないので分からない。指導員の他、看護師もいるため安心。職員の入れ替わりがなくて良い。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	35	3	0	室内の様子を見たことがないので分からない。自分の子は必要ない為、必要な子どもに適正なのか分からない。配慮されていると思う。
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（i）が作成されているか	34	4	0	個々に合わせて支援してくれ、成長が感じられる。
	⑤	活動プログラム（ii）が固定化しないよう工夫されているか	26	12	0	クッキング、買い物など、長い休みの時は、いろいろとやっていただいている。年々いろいろなことが出来ることが増えています。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	28	6	
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	35	3	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	5	0	お迎えに行ったときに、その日のデイの様子を直接聞ける。（片付けができたよ。こんな手伝いをしたよ等。）子供の精神状態などを理解し、配慮して関わってくれる。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	12	1	面談はないが、帰りに子供の様子をきける。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか	7	28	3	保護者会はない。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	30	8	0	特に苦情がない。たまに親も参加行事があっても良いと思う。家まで送ってくれるデイと違いお迎えに行くので、友達に怪我をさせてしまったなど万が一があっても、すぐに教えてもらえ、相手の保護者にも早く謝罪ができる。親の悩みを聞いてくれたり、子どもの気持ちを分かってくれたりとお迎えの時に職員と話ができるので感謝している。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	5	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23	14	1	活動に様子が見られるものが少ない気がする。時々、ホームページをみて楽しいことをしているんだと思います。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	37	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	18	20	0	どこに逃げるか知らない。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	29	0	週1の利用の為分からない。見たことがないので分からない。子どもから訓練したことを聞き、だいたい分かる。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	38	0	0	毎回楽しみに、励みに生活しています。室内に色々な遊ぶものがあるので楽しみにしている。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	14	20	4	活動予定（年間予定）があると助かる。手厚い支援に感謝しています。広報不足（実施されていても伝わらない）アピール方法を工夫した方が良い。

（i）放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

（ii）事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（放課後等デイサービス色えんぴつ）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	4	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	6	5	0	人員基準は満たしており、利用児の状況に合わせ職員の配置ができています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	4	1	適切になされているように思う。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	8	1	連絡ノート、ヒヤリハットノートを活用している。支援など会議や日々の話し合いをおこない情報共有を密におこなっている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	9	1	保護者からの意向等は、会議等で話し合いをおこなっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		8	3	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			11	第三者評価は、受審していない
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2	1	職員会議、支援会議を月に1回実施している。法人研修、外部研修に参加
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	8	1	個人へのスケジュール提示は、視覚支援の予定の確認、聴覚過敏対象児への環境設定への配慮等実施。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	9	1	保護者からの要望等は、会議等で全員に伝え話し合いをし支援方法を模索しながら支援計画に反映している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	6	2	利用児のメンバーを事前に確認し、その日に合った活動内容を職員で話し合い、プログラムの立案をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	10	0	重度自閉症児に対しては、あえて固定された活動をおこなうことで児が落ち着いて過ごせるように支援している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	8	1	クッキング、外出や買い物体験等、普段は行えない支援をととして、児童が様々な経験や体験ができるよう課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	8	1	個々の特性に配慮した計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	11	0	0	利用児の状況把握、活動内容等を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	6	2	その日の問題点や注意事項等は、出勤していない職員にも伝わるように連絡ノートを活用し、全員が周知するよう努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	5	1	全員の職員は把握していないが、おこなっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	8	1	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	9	1	全ての職員が把握していない部分がある。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	0		担当者会議の前に話し合いを行い企画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	5	1	学校の送迎時間の変更などは、保護者が教えてくれることもある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	6	1	受け入れ時にマニュアルを作成し、緊急連先や病院搬送の体制を整えている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	8	1	必要に応じて相談事業所に情報を伺っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	5	1	相談事業所や担当者会議等で必要な情報を提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	8	1	全員の参加はないが、参加者から研修報告がある。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	2	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	2	7	2	決まった職員だけが参加がある。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	4	1	個々の成長に合わせた支援方法を保護者と相談しながらおこなっている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	4	相談があった場合など必要に応じて行っている。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	0	0	必要に応じおこなっている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	6	1	必要に応じて、相談事業所と連携しながらおこなっている。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	8	1	主な職員が相談や心配ごとに対し必要に応じて助言を行っている。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	4	1	保護者が迎えに来るため、苦情等に迅速かつ適切に対応できている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	7	1	必要に応じておこなっている。
	㉟	個人情報に十分注意しているか	9	2		ホームページや広報誌などに掲載する写真は事前に保護者の許可を取っています。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	4	1	個々に合わせておこなっている。

	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	9	2	
非常時等の対応	③⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	9	2	職員間で曖昧になっている部分があり、保護者に対しても周知できていない部分がある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	5	3	今後は定期的の実施していく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	2	2	会議や研修などへの参加がある。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	3	0	事前に保護者に内容説明を行い、書類に署名捺印を頂いている。時間や内容を具体的に記入している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	6	1	外食や買い物の際など事前に確認している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	2	0	ヒヤリハットを活用し、会議などで話し合いをし、共通理解に努めている。